

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【公開番号】特開2015-208645(P2015-208645A)

【公開日】平成27年11月24日(2015.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-073

【出願番号】特願2014-94266(P2014-94266)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月5日(2017.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の制御手順に従って、遊技の制御を行う制御手段を備えた遊技機において、

所定の情報を記憶した記憶手段と、

その記憶手段の一部であり、前記制御手段が遊技に関する制御を行うためのデータ群を複数記憶したデータ群記憶領域と、

そのデータ群記憶領域に記憶されている複数の前記データ群のうち、1の前記データ群を構成するデータが前記制御手段による所定の制御に用いられるように設定するデータ群設定手段と、を備え、

前記データ群記憶領域には、複数の前記データ群を構成するそれぞれのデータが、前記データ群記憶領域に対応付けられている複数のアドレスに所定の順序で記憶されているものあり、

前記記憶手段は、所定のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された規定情報として、複数の前記データ群のうち第1のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第1規定情報と、前記第1のデータ群とは異なる第2のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第2規定情報と、を少なくとも記憶しているものあり、

前記遊技機は、

前記第1規定情報を用いて特定されたアドレスと、前記第2規定情報を用いて特定されたアドレスとの差分を用いて、1の前記データ群を構成するデータの個数である特定個数を演算する演算手段を備え、

前記データ群設定手段は、前記記憶手段に記憶されている前記規定情報と、前記演算手段により演算された前記特定個数とを用いて、1の前記データ群を構成するデータのうち前記特定個数のデータが前記所定の制御に用いられるように設定するものであることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記制御手段を収納することが可能な収納手段を有することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結果が当たりとなった場合や、遊技状態を変更する場合等に、複数の設定値を制御プログラムに従って設定するものがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、かかる遊技機では、プログラムの設計者がミスしてしまう等によって制御プログラムに誤った値が規定されてしまうと、遊技機が誤動作してしまう虞があった。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、誤動作を抑制することができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定の制御手順に従って、遊技の制御を行う制御手段を備えるものであり、所定の情報を記憶した記憶手段と、その記憶手段の一部であり、前記制御手段が遊技に関する制御を行うためのデータ群を複数記憶したデータ群記憶領域と、そのデータ群記憶領域に記憶されている複数の前記データ群のうち、1の前記データ群を構成するデータが前記制御手段による所定の制御に用いられるように設定するデータ群設定手段と、を備え、前記データ群記憶領域には、複数の前記データ群を構成するそれぞれのデータが、前記データ群記憶領域に対応付けられている複数のアドレスに所定の順序で記憶されているものであり、前記記憶手段は、所定のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された規定情報として、複数の前記データ群のうち第1のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第1規定情報と、前記第1のデータ群とは異なる第2のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第2規定情報と、を少なくとも記憶しているものであり、前記遊技機は、前記第1規定情報を用いて特定されたアドレスと、前記第2規定情報を用いて特定されたアドレスとの差分を用いて、1の前記データ群を構成するデータの個数である特定個数を演算する演算手段を備え、前記データ群設定手段は、前記記憶手段に記憶されている前記規定情報と、前記演算手段により演算された前記特定個数とを用いて、1の前記データ群を構成するデータのうち前記特定個数のデータが前記所定の制御に用いられるように設定するものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0007】**

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、前記制御手段を収納する」とが可能な収納手段を有する。

**【手続補正7】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0009****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0009】**

本発明の遊技機によれば、所定の制御手順に従って、遊技の制御を行う制御手段を備えるものであり、所定の情報を記憶した記憶手段と、その記憶手段の一部であり、前記制御手段が遊技に関する制御を行うためのデータ群を複数記憶したデータ群記憶領域と、そのデータ群記憶領域に記憶されている複数の前記データ群のうち、1の前記データ群を構成するデータが前記制御手段による所定の制御に用いられるように設定するデータ群設定手段と、を備え、前記データ群記憶領域には、複数の前記データ群を構成するそれぞれのデータが、前記データ群記憶領域に対応付けられている複数のアドレスに所定の順序で記憶されているものであり、前記記憶手段は、所定のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された規定情報として、複数の前記データ群のうち第1のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第1規定情報と、前記第1のデータ群とは異なる第2のデータ群の先頭アドレスに対応付けて規定された第2規定情報と、を少なくとも記憶しているものであり、前記遊技機は、前記第1規定情報を用いて特定されたアドレスと、前記第2規定情報を用いて特定されたアドレスとの差分を用いて、1の前記データ群を構成するデータの個数である特定個数を演算する演算手段を備え、前記データ群設定手段は、前記記憶手段に記憶されている前記規定情報と、前記演算手段により演算された前記特定個数とを用いて、1の前記データ群を構成するデータのうち前記特定個数のデータが前記所定の制御に用いられるように設定するものである。

**【手続補正8】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0010****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0010】**

これにより、遊技機の誤動作を抑制することができるという効果がある。

**【手続補正9】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0895****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0895】**

1 0	パチンコ機（遊技機）
1 1 0	主制御装置（制御手段）
2 0 2	R O M（記憶手段、データ群記憶領域）
2 0 2 g	遊技結果設定テーブル（識別用情報記憶手段）
2 0 2 h	状態設定テーブル（記憶手段）
S 5 0 2	識別用情報選択手段
S 1 4 0 4	情報群選択手段
S 3 1 1 , S 3 1 3	データ群設定手段の一部
S 3 1 2 , S 3 1 4	データ群設定手段の一部、演算手段